

# 千秀小学校中期学校運営プラン（学校マニフェスト）

**計画期間** 平成19年～平成21年

**学校教育目標** 千秀の子 教育行動目標 「すこやかに であう ふれあう 学び合う」

- 自分で問題を見つけ、解決方法を考え、創造的に活動する子を育てます。
- 異なる学年や地域の人たちとのふれあいから、相手のよさに気づき、ともに認め合い、学び合う子を育てます。
- 生命の尊さを考え、すこやかな心と体をはぐくむために努力する子を育てます。

## 学校経営方針

学校教育目標を実現するために活力と魅力ある学校づくりを目指します。

- 誰もが安心して豊かな学校生活ができるように、たがいを大切に思いやる人間性豊かな子を育てる学校づくりを目指します。
- 学校、家庭、地域との連携を深め、学校を開き、地域とともに歩む学校づくりを進めます。
- 基礎的・基本的な指導内容の確かな定着と生きる力を育てる教育課程の編制に努めます。
- 教職員それぞれの良さを発揮し、たがいに啓発、連携し合う活気あふれる学校運営を目指します。

## 指導の重点

- 異なる学年や地域の人々とのかかわりの中で、ルールやマナーを尊重する心と態度をはぐくみ、人とのつながりを大切にする場を充実します。
- 子ども一人ひとりの力を引き出し、基礎的・基本的な学習内容の確かな定着を図るため、各教科の指導内容の充実に努めます。
- 子どもの主体性を伸ばす体験的な活動や問題解決的な学習を積極的に取り入れます。

## 改善の視点

- 1 子ども一人ひとりの学力を高めるため、教科等の指導の充実に図っていく必要があります。

## 取組目標

- 算数では、複数教員によるチームティーチングを導入し、課題別、習熟度別指導を実施します。21年度までにはアシスタントティーチャーの確保状況に合わせて低学年(1、2年生)の国語でも複数指導体制を導入していきます。
- 現在の「本の読み聞かせ」の充実に図るとともに、「朝読書」の継続を全校で実施し、読みとる力を伸ばし、本に親しむ環境を整えます。20年度は、「まち」とともに歩む読書活動推進校として、保護者、地域、学校三者による協働体制を整え、読書活動のいっそうの充実に図り、本に親しみ、豊かな心を育てる子どもの育成に取り組みます。
- 国語を中心とした言語能力の育成や、英語教育の推進を通して、コミュニケーションの力や表現する力を高めます。
- 教員の授業力を高めるため、横浜市授業改善支援センター(ハマアップ)の積極的活用を学校全体で進め、優れた授業実践の実現に努めます。各研修への参加、研究授業の実践を通し、研鑽を重ねます。
- 夏季休業中の「千秀サマーキャンプ」(夏休み開始後1週間スイミングタイム・スタディータイム・チャレンジタイム)の継続充実に努めていきます。スタディータイムでは、読み・書き・計算等基礎的な復習に力を入れます。チャレンジタイムは、子どもの興味関心を持つ課題や思いを実現させるため、チーム千秀を中心としたアシスタントティーチャーの確保にも努力します。

<p>2 規範意識や公共心の欠如が問題になっており、豊かな心を育む取り組みが必要となっています。</p>	<p>地域や家庭と連携して心の教育を進めるため、次のことを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校を開く週間の(10月末の1週間)期間中に道徳の授業を全学級で公開します。</li> <li>○ いじめをなくし、差別を許さない心と態度を養う子どもを育むため、20年度は、子どもと保護者による「心の会議(子ども権会議)」を学年ブロック単位(低学年・中学年・高学年)で実施します。</li> <li>○ 豊かな人とのかかわりを体験させるため、学校行事や総合的な学習の時間のねらいや活動内容の改善を図っていきます。</li> <li>○ スマイル活動(全校縦割り活動)の活動(給食・清掃・遊び全校遠足・運動会)を通して、異なる年齢の集団の中で、協力、思いやりの態度を育てます。伝え合う、聞き合う等コミュニケーションの能力も育てます。</li> <li>○ 教職員による登校時の声かけ活動「おはよう千秀」の継続を図り、子どもと職員の心の交流を一層深めていきます。</li> </ul>
<p>3 市全体として子どもの体力向上が課題になっています。体力の向上を図り、生涯にわたって健康に関心を持ち続ける子どもを育てる必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭と連携して健康教育を進めるため、学校・家庭・校医・児童委員会による拡大学校保健委員会を充実させます。</li> <li>○ 「体力向上推進拠点校」として、「キラキラタイム」の活動の工夫と朝の特別スポーツクラブ(朝スポ)の充実を図り、体力づくり・仲間づくりを推進します。</li> <li>○ 自分で行う体力づくりへの興味関心を高めるため、地域や市が行う体育的行事に子どもたちが積極的に参加できるよう、学校でも支援をしていきます。(ちびっこマラソン・チビリンピック・栄ロードレース・大正中学校区陸上競技大会)</li> </ul>
<p>4 安全・安心な学校づくりが必要となっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現在は、低学年対象に行われているチーム千秀による「千秀学援隊」の体制を、保護者の協力へと拡大し、全学年対象の下校支援や見守り体制を整備していきます。</li> <li>○ 複数職員による登校時の声かけ活動「おはよう千秀」を継続し、子どもの安全な登校を見守ります。</li> </ul>
<p>5 「まちとともに歩む千秀小学校」として、地域・保護者・異校種間の交流・連携を推進していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学区にある幼稚園・保育園・中学校・施設とのふれあいの場づくりを工夫し、たがいの交流を深めともに同じまちに住む人への思いやまちを愛する心情を育てます。</li> <li>○ 総合的な学習の時間や生活科での稲作や栽培活動等、地域の方とふれあい、働く姿を見つめる体験的学習を計画的に教育課程に組み込んでいきます。</li> </ul>
<p>人材育成の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業改善への創意工夫に取り組める教員の育成を図るため、教育委員会主催の研修への積極的参加や校内研修の充実に努めます。</li> <li>○ 児童指導の課題が継続しています。児童理解に基づいた指導を進めるため、主幹教諭を中心とした校内体制の整備と共に、校内研修を進め、職員の児童理解とカウンセリングマインドを高めていきます。</li> <li>○ 適材適所の職員配置に努め互いの力を出し合いともに高め合う職員集団を形成します。</li> </ul>
<p>平成20年度の重点取組項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語、英語教育を中心として、コミュニケーション能力と表現力の育成</li> <li>○ 体力向上の推進(健康教育)</li> <li>○ PSY校(パイオニアスクールよこはま)として、家庭・地域の教育力の活用と体制づくり</li> <li>○ 英語教育の推進</li> <li>○ 読書活動の推進 《「まち」とともに歩む読書活動》推進校としての取組</li> </ul>
<p>学校評議会の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低学年における基本的な生活習慣の指導の徹底</li> <li>○ 落ち着いた学習環境の整備</li> <li>○ 少人数指導の充実(個に応じた指導)</li> </ul>